

Oh!Me

インターネットと連動した
【滋賀生活情報紙】



新毎日新聞

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

滋賀ガイド www.gaido.jp

vol.425・7月19日号 毎週木曜発行 **4面にプレゼント情報!**

●Oh!Me編集室/株式会社ヤマブラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603 発行部数:100,000部
●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5

正藍染職人の植西恒夫さんは江戸中期創業の「紺喜染織」六代目で、この道60年の達人。その「正藍染・近江木綿」の作品は滋賀の伝統工芸品に選定されている。だが、残念ながら後継者はおらず、「藍染めの素晴らしさを少しでも多くの人に知ってもらいたい」という思いを胸にひたすら仕事に励んでいる。



「素晴らしさを 知ってほしい」 藍染めの



素敵な人

しょうあいそめ 正藍染職人 **植西恒夫さん**
(湖西市在住・77歳)

「求められるもの」を 求める人に…

「私は、親から引き継いだ仕事を家族の生活を守るために続けてきただけです。伝統という言葉は後からついてきたに過ぎません」と、植西さん。滋賀が誇る伝統の染織技法「正藍染・近江木綿」を今に伝える最後の一人で、1997年に「日本民芸公募展」の「内閣総理大臣賞」を受賞している。それにもかかわらず、負いを感じさせるところは全くない。18歳で家業の藍染めの仕事を始めたときもそうだった。伝統を受け継ぐとか、染めが好きだとかでなく、家業は長男が

に語る。染織品も陶磁器や家具などと同様に暮らしの道具である。道具は必要に応じて生まれ、必要がなくなれば消えていく。無理に続ける必要はない……。終わり方も自然体で、美しくさえある。

「藍の栽培」「染め」「織り」まで

「正藍染・近江木綿」の起源は、植西家の初代が四国から持ち帰った藍の種にあった。種を地元で栽培してみたところ意外にも出来栄が良く、これに阿波藍を混合発酵させて染めた生地は、光沢と丈夫さに優れ、全国に知られるようになったという。

継ぐものと覚悟を決め、当たり前と思ってやってきた。一昔前まで「正藍染・近江木綿」は滋賀の特産として隆盛を極めていたが、今では需要が激減。一時期、後継者として弟子入りを志願する人もいたようだが難しかった。「体力が続く限り、少しでも多くの人に藍染めの素晴らしさを知ってもらうのが自分の使命だと思っています」と、静か



染め液に糸を漬けて手早く染め上げる

仕事は藍の栽培に始まり、その「発酵」「染色」「織り」まで、全てにわたる。春に種をまき、初夏から秋にかけて刈り取り、天日干しで乾燥させる。さらに、これをムロで約100日間発酵させ、大きなつぼに入れて石灰、フスマ(小麦のかす)、あくで再発酵させながら染め液を作っていく。染め液の温度や濃度は色合いを大きく左右す

る。長年の経験と勤だけが頼りだ。大正時代までは、どの家庭にも織機があり、紺屋に染めさせた糸を手織りして布生地を作っていたのだ。

時の流れと共に…

昔の藍染めの柄は濃い紺の部分が多かったが、時代と共に淡い色が求められるようになった。だから、その変化に対応するべく、昔ながらのやり方を守りつつも、変えるべきところは変えてきた。

一方、最近は染め体験の希望者が増えてきている。伝統産業を守ろうとする時代の流れとともに、主婦層を中心に、オリジナルな作品を作りたいと思う人が増えているのだ。

自宅で自然藍を使って染めることもできるが、濃い色を出すのは難しく、淡い色にしか染まらない。濃い色を出すには、

紺屋に頼むしかない。Tシャツやハンカチなど比較的簡単なものから、糸を染める本格的なものまで要求はさまざまだ。最近は校外学習で小学生や中学生も来るとい



藍の葉

「染め体験を通していろいろな人と出会えるのがうれしいですね。毎朝、通学路に立ち、子どもたちとあいさつを交わすのも日課になっています。このあいさつは孫が小学生だったころから始めて、もう9年になります。子どもたちから元気をもらっています」(取材:福本)

紺喜染織

●湖西市下田1530 ●TEL:0748-75-0128



滋賀生活情報紙【Oh!Me】はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。毎日新聞のご購読申し込みはフリーダイヤル0120-468-012

琵琶湖に沿って100mの大延長
7月21日(土) あがりゃんせ大増築オープン!!
《《琵琶湖一望リクライナー200台増設》》
露天風呂がさらに広くなり、滝のある岩風呂や電気風呂が登場。またバリエーションにとんだ5種類の岩盤浴スパでリフレッシュ!!びわ湖を望めるフレンチレストランも誕生しました。8月1日(水)おごと温泉納涼花火大会が屋上からご覧頂けるバーベキュープランも販売中!お申し込みはお電話で。1日中ゆったり楽しめるあがりゃんせには是非お越し下さい。

新入館料 大人1,650円 小人1,000円 ※土日祝200円増 (3歳以下無料)
※岩盤浴用エアレンタル料400円
※3歳未満のお子様とおむつのとれていないお子様は「ファミリースパ」をご利用下さい。
※入れ墨・ボディアート等のある方のご入館はお断りします

★7月19日(木)メンテナンス休業します。
お問い合わせ
スパリゾート雄琴 あがりゃんせ TEL 077-577-3715
営業時間 10:00~翌1:00(最終受付24:00)
★ JRおごと温泉駅から無料定期シャトルバスあり <http://www.agaryanse.co.jp/>

当店のうなぎは焼きたて、味自慢! たれ自慢!!

土用の丑・7/27(金) うなぎのご予約承ります

生鮮魚介類・仕出し・オードブル
鮮魚のうえの
上野幸雄
長浜市南小足町452-3 TEL:0749-63-3538